

玉幡小ホームページ <https://www.city-kai.ed.jp/rtsho/> から学校の様々な情報を見ることができます。



甲斐市立玉幡小学校 令和元年度 学校だより 第6号

チーム玉幡

令和元年7月2日
学校長 丸茂和也

学校開放日へのご参加ありがとうございました。

6月27日（木）は学校開放日でした。2～5校時の間、学校や子どもたちの様子を参観していただきました。授業参観では保護者の皆様に見守られていることで、いつも以上に子どもたちは、はりきって授業に向かい合っていたように思います。



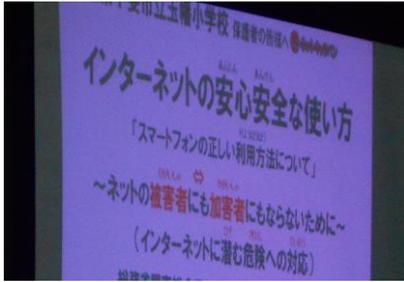
朝早くより、たくさんの方が来てくださいました。落ち着いてじっくりと取り組んでいます。



みんな話し方・聞き方が上手です。真剣さが伝わってきます。



先生や友だちと共に、しっかりと、楽しく学習に取り組んでいます。



また4校時は保護者の皆様，5校時は3～6年生を対象に，総務省情報通信部より井口 善孝（いのくち よしたか）先生を講師にお迎えし，「情報モラル教室」を行いました。

パソコンやスマートフォン，タブレット等を使っのSNSは，便利さと危険をあわせもっています。「**どの子どもも大人も「被害者」にも「加害者」にもさせない**」という，熱い想いをもってお話をいただいたことが印象的でした。以下はお話の要点です。

- ①安全なアプリなど一つもない。これをわかった上で SNS を使用する。
- ②SNS の前では，大人も子どももない。子どもだから…は通じない。だから大人が最初はいっしょに支えてあげる。初めて自転車に乗るときに大人が荷台を支えてあげながら，徐々に手を離していくイメージで，大人が見本を示しながら慣れさせていく。
- ③何時まで，どこで，いくらまでというルールを決めたら大人といっしょに守っていく。ルールを繰り返して積み重ねていくとモラルになり，それは人としての力となる。
- ④ネット依存になったときに起きる寄り目や難聴，また睡眠障害等はすぐには治らない。治るまで約6～7年はかかる。
- ⑤一度アップした情報は世界中の人が見られる。写真などをアップした場所，人の名前や住所などの情報は短い時間で必ず特定される。
- ⑥テンションが高いとき，落ち込んだとき，イライラしたとき等平常の気持ちでないときに使うと，必ず失敗をする。アプリの使用や写真などをアップする場合は，必ず冷静な気持ちになってから行う。
- ⑦情報をのせる時良いか悪いかわえられる人，だれかが困らないか等心配りができる人になることが大事。



先生と昼食を共にしたときのお話で，成功例の一つとして東京で中華料理店を営むご家庭で，お子さんにスマートフォンをもたせるときに，一つだけルールを決めたそうです。それは「朝5：30には必ず起きて炊飯器のスイッチを入れる」というものでした。お子さんはそれを行うために，生活スタイルを自分で考え，試行錯誤しながら，ずっと守っていったそうです。子どもが自分で考え，それを大人が見守り，自分の中にモラルをつかっていった良い例として紹介いただきました。

学校からも各家庭に，この「情報モラル教室」の資料を A4 2 枚（両面カラー印刷）で配付しました。ご家族でご覧いただき，ぜひご活用ください。

ひびけ歌声♪心をひとつに



6月24日（月）のモジュールの時間に，歌声集会がありました。音楽委員会のみなさんの指揮や伴奏，指導でいい声を出すための顔やイメージづくりが行われ，始めに歌ったときも良かったのですが練習後はさらに声が伸びて，全校合唱曲の「すてきな一歩」が体育館にきれいにひびきました。

「音は心 心は音」という言葉を聞いたことがあります。子どもたちの伸びやかな歌声は，まさに子どもたちの心そのものであり，その心が伸びやかな歌声をつくらせている，そしてその一人一人の心が一つになって「合唱」になったとき，一人では決してできないことができる，という音楽の良いところを一つ見た思いでした。少し暑い体育館の中でしたが，心も熱く温くなるひとときでした。

